



一人ひとりが自分らしく健やかに育つために...

# 子どもの未来を考える



療育のアドバイスも受けられる



専門のスタッフに相談できる

## ～ その子の個性に応じた療育でサポート ～

西宮にあるこども未来センターは、「西宮市立わかば園」と「西宮市スクーリングサポートセンター」を移転・再編し、福祉・教育・医療が連携して、さまざまな悩みや不安のある子どもに対し、切れ目のない一貫した支援を行っていくことをめざしている。発達に不安を抱えるお父さんとその保護者に知ってほしい施設だ。

### 自閉症スペクトラムとは...

「広汎性発達障害」とほぼ同じ概念を指すもの。この中に、自閉症やアスペルガー症候群、特定不能の広汎性発達障害などが含まれる。それぞれに特徴があり、またそれぞれがオーバーラップすることもあり、互いの境界線を引くのは難しいため、最近では「自閉症スペクトラム」という言い方が一般的となっている。

### 「療育」にはこんな種類が...

- 「言語聴覚療法(ST)」言語・コミュニケーションの発達を支援
- 「作業療法(OT)」手の運動や操作能力の未熟さを支援
- 「理学療法(PT)」座る、歩くなどの運動発達の促進
- 「通園療育」年齢や個々の状態に合わせた保育

#### 取材協力

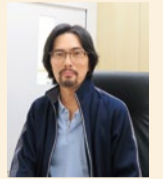
**西宮市立こども未来センター**  
西宮市高畑町2-77  
開所時間/月～金 9時～19時 土 9時～17時  
※まずは下記へ問合せ  
☎0798-65-1881  
[http://www.nishi.or.jp/navi/ln\\_001240000.html](http://www.nishi.or.jp/navi/ln_001240000.html)



### 気づきがあればまずは相談を

#### Interview

小児科医師  
**太田 秀紀** 先生



西宮市立こども未来センター診療所で、子どもたちの発達の診療に携わっている。「発達」のこぼれは、その子の個性。他の子にはないユニークな発想をお持ちのお子さんもいます。保護者の方には、その個性を伸ばしながら、前向きに療育に取り組んでいただきたいです。

2015年9月完成の快適な空間で、子どもの発達に関する様々な相談や医師の診察、専門的な療育の提供を行っている。



1歳半や3歳健診で「言葉の遅れ」に気づき、診断を受けて発達に課題があることがわかるケースが多いという。同センターで子どもたちの診療にあたる小児科医師の太田先生は「発達障害のことも以前に比べて広く知られるようになり、例えば自閉症なら、自閉症スペクトラムという概念が取り入れられて、以前だったら診断がつかなかった子どもも自閉症スペクトラムとして支援が受けられる」と話す。

正しい理解と適切な療育が大切  
診断の必要性として

医療が必要だと認識されるのが増えてきました。幼稚園などの集団生活が始まると、先生の言ったとおりの行動ができない、運動会等の行事の練習に参加できない、教室に入れない、泣いている、など。そういう姿を見て、対人関係や社会性について問題があるのでは? という気づきがあり、それから相談、診療に來られる方も大勢いらつやいます」と話す。

先生。各自治体に必ず相談窓口があるので、少しでも不安に思つたことがあれば、まずは相談してほしい。その一歩がお子さんの明るい未来につながるはず。

### 医療が必要だと認識されるのが増えてきました

「発達障害は生まれもつた脳の特徴なので、お母さんが自分の育て方を責める必要はまったくありません。それよりも今後どういふ問題が出てくるのかを事前によく知ってもらつて、それが大事。そのあとに「療育」と呼ばれる訓練のようものが始まるのですが、保護者がお子さんの状態を客観的によく理解し、受け入れてもらつていふ状態が「療育」を受けていたと、お子さんのその後の適応力にも良い影響があると感じています」と太田先生。各自治体に必ず相談窓口があるので、少しでも不安に思つたことがあれば、まずは相談してほしい。その一歩がお子さんの明るい未来につながるはず。



予想を超える復調に驚き、継続して通うシティライフ読者も多い。「小児てんかん、自閉症、発達遅滞をはじめ、言葉の遅れや喘息、目・鼻・口・耳・喉の不調、夜泣きなど、あきらめずに一度ご相談ください。針は小鳥が餌をついばむほどの刺激です」と前田登貴子院長。



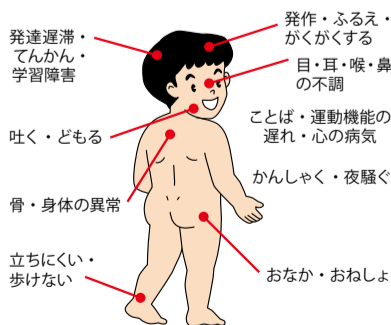
90年の歴史と多数の改善実績を誇る同院。世界的な学会でも高い評価を得ている。

#### 利用者の声

- 広汎性発達障害(6歳児)**  
学校で毎日問題を起こしていましたが、針を受け始めてから授業への取り組みが良くなり、以前より長く座っているようになりました。あいさつも言えるようになり、言葉の発音や数も良くなったので周囲も本人も理解し易くなりました。
- 脳性小児まひ(1歳児)**  
右手が動かない、右足の動きが鈍い、右手親指をギュッと握り込むという症状。以前右手は本人にとって「無い存在」のようでしたが、少しずつ自分の意志で動くようになり、今は一生懸命使おうとしています。バランスは悪いものの、小走りするようになりました。
- てんかん発作(3歳児)**  
毎日5～6回のけいれんを繰り返し、薬の量も増えていましたが、施術により1週間に1回はまで大幅に減りました。薬も元の量に戻りました。

子どもの発達障害や体の不調を改善へ原因である脳神経に「新脳針」でアプローチ

わが子の難しい健康トラブルに全国から相談が寄せられる同院。各メディアで紹介されている独自の「新脳針療法」で数多くの良好例があり、家族が驚くほどの変化を見せることも。個々に合わせて頭部を中心に、手足にも針を打ち、微弱電流を注入することで、萎縮した脳神経細胞を強力に活性化させ、脳内ホルモンの分泌を促す。「たった数回で改善



約21坪の広々とした居室



※子どもだけでは出られなくなっています



年齢ではなく発達水準に合わせてクラスを分けています

一人ひとりが輝かしい人生を送れるように多様なアプローチで子どもたちの「学び」・「経験」をサポート

子ども達は自由な環境の中でたくさん経験を重ね、同施設はその経験こそが本場の「学び」であり、「生きる力」になると考える。子ども達が本来持つ「学びたい」という意欲を、おのずから成長発達

#### Linkerの6つの特色

1. 心理学に基づいた自発性を育てる療育支援
2. 感覚面、運動面の問題解決を目的とした感覚統合的アプローチ
3. 接触鍼(刺さない鍼)を使った鍼灸治療的アプローチ
4. 医学、福祉、療育の視点から児童に必要な支援、及び保護者へのアドバイスを実施
5. 18歳以後の児童の社会参加を見据えたSST(ソーシャルスキルトレーニング)
6. 児童の現状を多角的に把握するために学校等の教育機関に対する訪問支援

Linkerは、「ノア」と「アミ」の2つの事業所で、児童の発達に必要な療育を行う総合支援型の児童デイサービス

〈Linkerノア〉  
自由遊びの中から自発的な行動を引き出し、その過程でコミュニケーション能力の向上や正しい行動を学ぶ療育を行う。

〈Linkerアミ〉  
未発達な身体感覚と知覚(認知)を音楽と運動を用いて、楽しく養育を行っている。

#### 児童デイサービス Linker(リンカー)

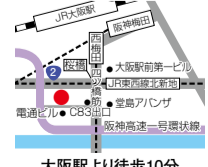
【Linkerノア】西宮市江上町3-43 セイワビル3F 1Fは、高齢者デイサービス事業所  
【Linkerアミ】西宮市中前町1-25 和成ビル3F 1Fは、はんこ屋さん21  
営/月～金(祝日、年末年始を除く)  
・児童発達支援事業(未就学児)9時～13時  
・放課後等デイサービス(小学生～高校生)15時～18時  
※長期休暇時は14時～18時

☎0798-31-3915 <http://www.piece-innovation.co.jp/>



#### 新脳針医学研究所 堂島針灸接骨院

大阪市北区堂島2-3-1  
受/9時～12時半  
14時～18時半  
(土曜は8時半～13時)  
木・土曜午後、日・祝日休診  
☎06-6345-1000



#### MENU

- 初診料...3,000円 ● 施術料(大人)...6,500円
  - 小児科(生後40日～高校生)...1,500円～5,500円
  - お得な回数券...小児1回あたり3,600円～
- (全て税別、障がい者割引、回数券割引あり。詳しくは要問合せ)

特典「シティライフを見た」で初診料1,000円割引(2017年2月末まで・要予約・税別)

堂島針灸接骨院 | 検索  
より詳しく知りたい人はPC版HPへ

大阪駅より徒歩10分